

案内・受付グループ 岩崎

今回の活動では、「前回やりたいことを考えてきてほしい」と言っていたので、考えてきたことを聞きました。子ども達は「ホールまで行く道に案内の看板を付ける」「作った看板は、曲がり道に貼る分がないから、曲がり道用の看板を作る」と言っていました。「入り口から何回曲がるとホールにつくの？」と質問すると「わからへんなあ。見に行こう」といって、実際にホールまでの通に何か所曲がり道があるかを数えに行きました。

4箇所あることに気づき、今までの4つのグループに分かれ、1つずつ表示を作りました。
次回:プログラムに描きたい絵をどんな物が描きたいか考えてくるように伝えたので、プログラムの挿絵を描いていきたいと思います。



道具グループ 本山

今回は、出来上がったものを各クラスに紹介にいきました。前回、子どもたちと写真で各クラスに伝えることを決めたので、自分たちの作った道具を撮って行きました。

写真を撮るときに注意しなければならないポイントをしっかり全員で共有して、写真を撮った後は、紹介をしに行く準備をしていきました。

紹介に行くときには、全員で何を言うのかを決め、練習の時には、小さい声でしたが、各クラスで紹介するときにはクラスの子どもたち全員に聞こえるように話していました。

今回、幼児にしか紹介が出来なかったため、次回乳児のクラスにも道具の紹介をしつつ、少しずつ道具を運ぶ練習を子どもたちと進めていきたいと思います。



司会グループ 足立

今回、前半は劇のタイトルを言うのに、誰がどのクラスを担当するのか話し合い決めました。「恥ずかしいから一緒に言う?」「一人で頑張るって言う」等話をして進めていきました。その後は注意事項を言う練習をしました。前回よりも落ち着いて早口にならずに言うことが出来ていました。

後半はこすもす・ひまわり組それぞれ分かれ、合奏とダンスの練習に取り組んでいきました。合奏はピアノの音に合わせて、自分でリズムや友だちとのタイミングを考えながら楽器を演奏していました。ダンスは動画を見ながら振り付けを覚え、身体を動かしていました。両方とも今回初めての練習で、動きが少し硬い所がありましたが、一生懸命に取り組む姿が見られました。



← 劇のタイトルを言うのに、どのクラスを担当するのか話し合っています。

楽器演奏ダンス意欲的に練習しています。

年下グループ 木村

今回は、40分程とたっぷり時間を使って年下クラスのお手伝いに行きました。前回と違うクラスに行こうということで自分で入るクラスを決め、ひよこ組、りす組、うさぎ組、もも組、あやめ組の各部屋へ。

乳児クラスでは一緒に遊んだり、お片付けしたり、エプロンをつけてあげたり、手遊びや絵本を読んであげたり...。今まで絵本や手遊びの練習をしてきた成果も出て、乳児クラスの子どもたちを惹きつけることができていました!

幼児クラスでは話し合いに参加出来ているか見たり、一緒に遊んであげたりしていました。話し合い後に「寝転んでなかった」「話し合っていた」と褒めてあげていましたよ。年下のお世話をしたい、という気持ちが、少しずつ積極的な行動に反映されています! 次回は劇あそび会本番でお手伝いするクラスを決めます。



「しめて」と頼まれて...



練習してきた絵本を読んでいます



話し合いを見守ります。

案内・受付グループ 岩崎

25日

プログラムの挿絵作成・活動内容の話し合い・各グループの動画撮影をしました。そのあと振り返りをして、27日は動画撮影の続きと、完成したポスターを貼りに行く事になりました。

27日

各グループ動画撮影に行きました。「顔見えるように撮ろう」や「明るく撮れるようにしたい」と工夫して撮影する様子がありました。そのあと作成したポスターを貼りに行きました。門の前に、モールを使って、試行錯誤しながらポスター掲示をしました。是非登園した際に消毒についてのポスターをご覧ください。



25日の様子



27日の様子

道具グループ 本山

6回目の道具グループは、乳児クラスに道具の紹介をした後、道具を運ぶ時の目印の色を覚えて道具を置く練習をしました。すぐに色を覚えて、困ったときにも「○○組やで」と友だち同士で助け合っていました。

また、上手・下手にも分かれて早く実際に道具を運んでみたいと意気込む子ども達でした。

7回目ではちゅうりっぷ組から、道具を作って欲しいとの依頼を受け製作をしていきました。以前よりも手際よく作業をしていく子ども達。

「こっちもつとくね」や「こっちとれそう」等お互いに助け合いながら作り上げちゅうりっぷ組に渡していました。

その後は、実際に舞台袖に行き、舞台からどのように見えるのかを確認したので、次回は実際に舞台に行き道具を置く練習をしていきます。



司会グループ 足立

25日

劇のタイトルを言う練習をしました。劇のタイトルが長く、言い辛そうにしていたり、少し恥ずかしくて声が出なかったりしましたが、「一緒に言おうか？」と子ども同士助け合おうとする姿が見られました。

27日

ホールでオープニングの全体や劇のタイトルを言う練習をしました。これまでの練習の時と違い、ホールでの広い空間により声を通らなったり少し萎縮してしまったりする姿が見られましたが、空間を意識しながら、大きな声を出そうとしたり、大きく身体を動かそうとしたりと自分たちなりに努力していました。



←
困っている友だちを助けようと優しく寄り添います。



年下グループ 木村

<25日>

劇あそび会当日にお手伝いに行くクラスを決めました。1部2部でクラスが分かれていることを全員で整理してから決め、各クラスに伝える前に誰が行くのかわかるようにポスターを作ろうということになりました。「書きたい！」という子とパソコンで作りたいという子が分かれたのでそれぞれ書く事を決めて作り上げました。

<27日>

各クラスに渡すポスターを持って、当日にお手伝いに入るクラスに行きました。「クラスに貼って下さい。」とお願いしてからお手伝い開始。それぞれのクラスで一緒に遊んだり、絵本を読んだりあげたり、エプロンをつけてあげたり、劇あそびを見守ったりしてあげました。「なにをしたらいいですか？」と聞く子どもたちは、少しずつお手伝いに慣れてきた様子です！

